

# あなたの 声 声 声 広聴のページ

ご意見・ご提案をお寄せください

あて先は  
〒510-8601 市役所市民生活課 広聴係  
TEL 54-8147  
FAX 59-0284(24時間送信できます)  
インターネット四日市市ホームページアドレス  
<http://www.city.yokkaichi.mie.jp>  
「市政への提案箱」へ  
〔住所・名前を明記してください〕



今回は、インターネット・ホームページ「市政への提案箱」にお寄せいただいたご意見・ご要望の中から抜粋・要約したものを掲載させていただきます。

**不登校生徒の大切な場である「ふれあい教室」の充実を  
今後の動向を見ながら検討していきます**

## ご要望

不登校の生徒にとって、ふれあい教室はとても大切な場となっております。しかし、最近では利用者が増えて、ゆとりがないようです。ぜひとも教室と先生の数を増やしていただきたいと思います。

## 市から

「ふれあい教室」(適応指導教室)は、不登校の児童・生徒の社会性や協調性を養い、集団適応能力を高め、学校復帰を目指して体験活動、制作活動および学習を行う場です。

現在のところ、「ふれあい教



北条町の「ふれあい教室」

室」の利用者(児童・生徒数)は三十三人で、五人の指導員が分担して受けもっています。ご指摘のように、近年、不登校の児童・生徒が増加しており、その要因や背景も複雑化・多様化してきています。

こうした状況に対し、本年度は正式入級生の定員を増やすとともに、日課の変更や学生ボランティアの活用を図って対応しています。

とりわけ子どもたち一人ひとりの自主性を育てるため、個々のペースに応じて学習ができるように、セルフタイム(一人学習)の時間を設け、学生ボランティアにも学習の支援をしてもらうほか、スポーツなどの運動の体験活動にも協力をお願いしています。

「ふれあい教室」(適応指導教室)の果たす役割は大きく、市教育委員会でもその重要性を認識しています。

については十分に認識していただきます。ご要望の教室や指導員の拡充については、今後の動向を見ながら慎重に検討をしていきたいと考えています。ご理解をお願いします。

教育センター(総合会館6階) ☎54・8283

## さまざまな悩みを抱える外国人への対応を

## 国際交流協会が中心となって相談窓口を開いています

## ご意見

周りの外国人が生活上のさまざまな悩みを抱えているようですが、個人では対応できないところがたくさんあります。相談の窓口を設けるなど、国際的な交流の場を市政として考える必要があると思います。

## 市から

現在、四日市市では、四〇カ国、約六千人の外国人登録があり、その数は増え続けています。特に、南米からの移住者の増加が顕著であり、登録者数の半数を占めています。

そこで、四日市市では、(財)四日市国際交流協会が中心となり、外国人を対象とした相談窓口の開設を行うとともに、各種交流事業、国際理解啓発事業を実施するなどして、外国の方も安心して暮らせる環境づくりを行っています。

これらの相談窓口の開設や交流事業についての案内などは、「広報よっかいち」や協会機関誌などに掲載するとともに、インターネット(アドレスは<http://www.niesc.ne.jp/via/>)でも情報を発信しています。また、外国の方には、本市で暮らすための基本的な情報を盛り込んだ冊子「生活ガイド」を外国人登録時に配布するなどしてお知らせをしています。

もし、みなさんの周りにさまざまな問題でお悩みの外国人がいらっしゃいましたら、市役所国際課もしくは(財)四日市国際交流協会までご連絡ください。

国際課(市役所北館5階) ☎54・8114  
(財)四日市国際交流協会(市役所北館5階) ☎53・995  
5 応対可能日時は火曜日以外 10時~18時)